

「要介護者口腔保健・医療・ケアに関する  
関係者アンケート調査」の結果

平成 28 年 3 月

新潟県

新潟県歯科医師会



# 目 次

## I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 実施主体	1
3 調査対象	1
4 調査期間	1
5 調査方法	1
6 調査項目	1
7 調査票の様式	2

## II 調査結果

1 事業所の種類	5
2 事業所の所在地	6
3 職員中の歯科衛生士の基本状況	7
4 口腔に問題のある要介護高齢者の実態に関する認識	8
5 歯科医師による訪問歯科診療の実施状況	9
6 歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況	10
7 訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由	11
8 要介護者に対する日常的な口腔内観察の実施状況	12
9 ケアプランへの口腔ケアの組み込み状況	13
10 要介護者に対する口腔内の問題点やニーズ把握の状況	14
11 口腔内の状況をふまえた口腔ケアの実施状況	15
12 介護者の口腔ケアの負担感に対する認識	16
13 口腔ケアに関する研修会の受講状況	17
14 口腔ケア研修会の受講希望の有無	18
15 歯科専門職（歯科医師等）との連携状況	19
16 歯科医師、歯科衛生士等との相談体制	20
17 協力歯科医の有無	21

## III 分析結果

1 口腔ケアの負担感と各項目との関連	22
2 口腔ケアに関する研修会の受講経験と各項目との関連	28
3 「勤務歯科衛生士の有無」及び「協力歯科医の有無」と各項目との関連	32

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

本県における介護サービス事業所・施設等（以下「事業所」）と歯科医療機関との連携体制を把握するとともに、各地域における在宅歯科医療推進のための体制づくりや多職種連携を促進するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 実施主体

新潟県、新潟県歯科医師会

### 3 調査対象

平成27年2月1日現在、新潟県内で開設されている介護サービス事業所・施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所、認知症対応型共同生活介護事業所、地域密着型特定施設、地域密着型介護老人福祉施設、居宅介護支援事業所）、および訪問看護ステーションの計2,441施設〔回収率67.5%（1,648／2,441）〕

### 4 調査期間

平成27年2月10日～3月6日

### 5 調査方法

郵送法による配布・回収

### 6 調査項目

所在地、訪問歯科診療の実施状況、日頃の介護における口腔ケアの実施状況、研修会の受講状況、歯科専門職との連携の状況等

## 7 調査票の様式

ID	
----	--

(ここには何も記入しないでください)

### 貴事業所等について、お聞きします。

**①事業所等の種類について、当てはまるものに1つ〇をつけてください。**

**※本調査は、同一運営主体であっても、各事業所及び施設の種類別に通知しています。**

**以下には、封筒の宛先に記載のある事業所に〇をつけてください。**

1. 介護老人福祉施設
2. 介護老人保健施設
3. 介護療養型医療施設
4. 通所介護事業所
5. 通所リハビリテーション事業所
6. 認知症対応型共同生活介護事業所
7. 地域密着型特定施設
8. 地域密着型介護老人福祉施設
9. 居宅介護支援事業所
10. 訪問看護ステーション
11. その他（具体的に） [ ]

**②貴事業所等の所在地について、当てはまるものを〇で囲んでください。**

1. 新潟市
2. 長岡市
3. 三条市
4. 柏崎市
5. 新発田市
6. 小千谷市
7. 加茂市
8. 十日町市
9. 見附市
10. 村上市
11. 燕市
12. 糸魚川市
13. 妙高市
14. 五泉市
15. 上越市
16. 阿賀野市
17. 佐渡市
18. 魚沼市
19. 南魚沼市
20. 胎内市
21. 聖籠町
22. 弥彦村
23. 田上町
24. 阿賀町
25. 出雲崎町
26. 湯沢町
27. 津南町
28. 刈羽村
29. 関川村
30. 粟島浦村

**③貴事業所等の職員の中に歯科衛生士はいますか？**

1. いる ( ) 人
2. いない

## 地域の要介護者等の歯・口腔の状況について、お聞きします。

④貴事業所等の所在する市町村区域（以下「貴地域」という。）において、口腔に問題のある（義歯が合わない、十分口腔清掃ができない等）要介護高齢者はどの程度いらっしゃいますか？次のうち、当てはまるものに1つ〇をつけてください。

1. 非常に多い。
2. ある程度いるようである。
3. ほとんどいない。
4. 実態を把握していない。

⑤貴地域における要介護者に対して、歯科医師による訪問歯科診療の実施状況はいかがですか？次のうち、当てはまるものに1つ〇をつけてください。

1. 十分実施されている。
2. 十分とは言えないがかなり実施されているようだ。
3. 少しは実施されているようだ。
4. ほとんど実施されていないようだ。
5. 実態を把握していない。

⑥貴地域における要介護者に対して、歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況はいかがですか？次のうち、当てはまるものに1つ〇をつけてください。

1. 十分実施されている。
2. 十分とは言えないがかなり実施されているようだ。
3. 少しは実施されているようだ。
4. ほとんど実施されていないようだ。
5. 実態を把握していない。

→ ⑦「⑤または⑥」で「3. 少しは実施、または、4. ほとんど実施されていない。」とご回答された方へ。訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由は何だと思いますか？当てはまるもの全てに〇をつけてください。

1. 歯科医師や歯科衛生士に訪問する時間的余裕がないため。
2. 歯科医師や歯科衛生士の数が不足しているため。
3. 要介護者の口腔問題のニーズが十分把握できていないため。
4. 歯科医師や歯科衛生士の診療施設外で活動する意欲が不十分であるため。
5. 歯科医師や歯科衛生士と他の医療福祉スタッフや行政担当者との連携が不十分であるため。
6. 保健福祉スタッフの口腔ケアに対する認識が低いため。
7. その他（具体的に）〔 〕

貴事業所等の口腔保健医療の取組や連携体制等について、お聞きします。

⑧要介護者の口腔内の観察を日常的に行っていらっしゃいますか？

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 常にしている    | 2. 概ねしている |
| 3. ほとんどしていない | 4. していない  |

⑨ケアプラン（あるいは診療計画）に口腔ケアを組み込んでいますか？

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 常にしている    | 2. 概ねしている |
| 3. ほとんどしていない | 4. していない  |

⑩要介護者に対して口腔内の問題点やニーズをとらえていますか？

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1. 常にとらえている    | 2. 概ねとらえている |
| 3. ほとんどとらえていない | 4. とらえていない  |
- ↓

⑪質問 ⑩で「1. 常にとらえている。または、2. 概ねとらえている。」と答えた方に伺います。口腔内の状況をふまえて口腔ケアを行っていますか？

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 常にしている    | 2. 概ねしている |
| 3. ほとんどしていない | 4. していない  |

⑫口腔ケアは介護者にとって負担だと思いますか？

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1. 非常に思う    | 2. 思う     |
| 3. それほど思わない | 4. 全く思わない |

⑬今までに口腔ケアに関する研修会を受けたことはありますか？

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

⑭今後口腔ケア研修会を受けてみたいですか？

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

⑮歯科専門職（歯科医師等）と日常的に連携をとられていますか？

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. とっている      | 2. 概ねとっている |
| 3. ほとんどとっていない | 4. とっていない  |

⑯歯科医師、歯科衛生士等に口腔に関する問題について相談することができますか？

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 相談できる | 2. 相談できない |
|----------|-----------|

⑰貴事業所では、協力歯科医がいますか？

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

～お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。～

## II 調査結果

### 1 事業所の種類

居宅介護支援事業所の割合が 32.5% と最も多く、次いで通所介護事業所が 24.3% であった。

[表 1]

表 1 事業所の種類

種類	回答数	割合 (%)
介護老人福祉施設	185	11.2
介護老人保健施設	81	4.9
介護療養型医療施設	23	1.4
通所介護事業所	400	24.3
通所リハビリテーション事業所	69	4.2
認知症対応型共同生活介護事業所	150	9.1
地域密着型特定施設	9	0.5
地域密着型介護老人福祉施設	52	3.2
居宅介護支援事業所	536	32.5
訪問看護ステーション	101	6.1
その他	21	1.3
不明・無回答	21	1.3
合計	1,648	100.0

## 2 事業所の所在地

所在地は新潟市が最も多く 33.1% であった。 [表 2-1]

また、医療圏別に見た場合、新潟医療圏が最も多く 38.0%，佐渡医療圏が最も少なく 3.0% であった。 [表 2-2]

表 2-1 事業所の所在地（市町村別）

市町村	回答数	割合 (%)
新潟市	546	33.1
長岡市	145	8.8
三条市	69	4.2
柏崎市	57	3.5
新発田市	58	3.5
小千谷市	30	1.8
加茂市	11	0.7
十日町	50	3.0
見附市	30	1.8
村上市	57	3.5
燕市	53	3.2
糸魚川市	24	1.5
妙高市	40	2.4
五泉市	29	1.8
上越市	167	10.1
阿賀野市	39	2.4

市町村	回答数	割合 (%)
佐渡市	49	3.0
魚沼市	35	2.1
南魚沼市	48	2.9
胎内市	27	1.6
聖籠町	12	0.7
弥彦村	5	0.3
田上町	9	0.5
阿賀町	12	0.7
出雲崎町	4	0.2
湯沢町	8	0.5
津南町	13	0.8
刈羽村	4	0.2
関川町	7	0.4
栗島浦村	0	0
不明・無回答	10	0.6
合計	1,648	100

表 2-2 事業所の所在地（医療圏別）

医療圏	回答数	割合 (%)
下越	161	9.8
新潟	626	38.0
県央	147	8.9
中越	270	16.4
魚沼	154	9.3

医療圏	回答数	割合 (%)
上越	231	14.0
佐渡	49	3.0
不明・無回答	10	0.6
県全体	1,648	100

### 3 職員中の歯科衛生士の基本情報

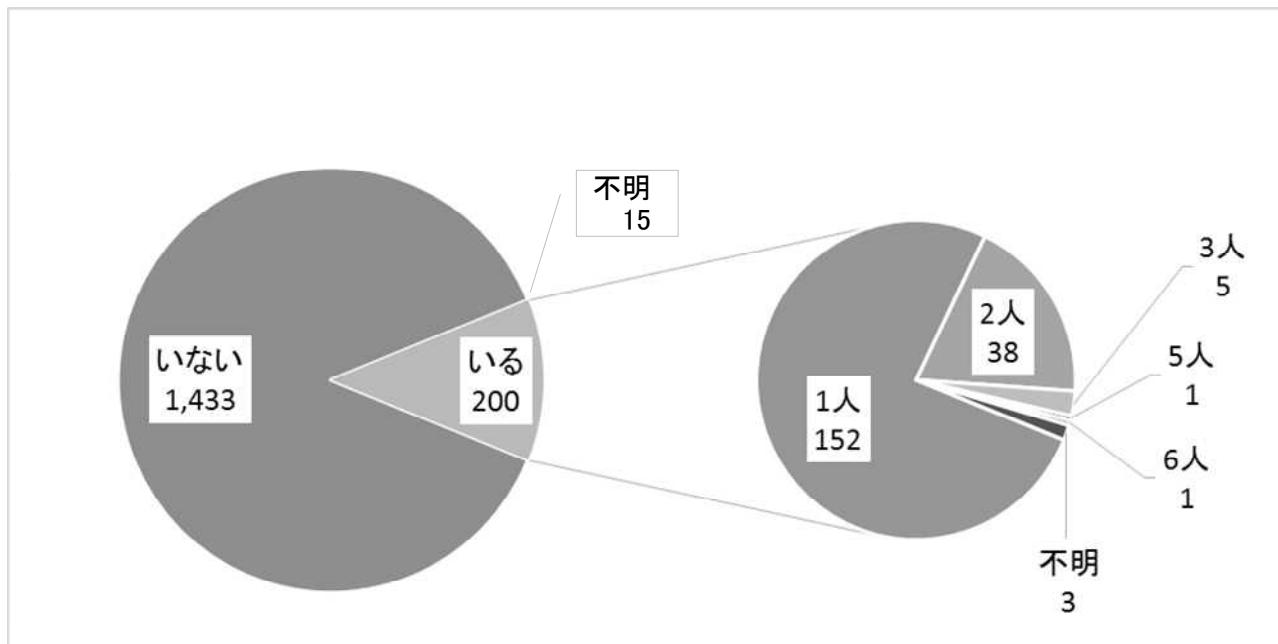
#### 【県全域】

職員の中に歯科衛生士が「いる」と回答した事業所は 12.1%, 「いない」と回答した事業所等は 87.0% であった。「いる」と回答した事業所の中では、歯科衛生士の人数は 1 人が最も多かったが、5 人あるいは 6 人と回答した事業所もあった。[図 1]

#### 【医療圏域】

医療圏別に見た場合、職員の中の歯科衛生士の有無に有意な差は見られなかったが（カイ二乗検定、 $p = 0.107$ ）、魚沼医療圏が最も多く 17.0%，佐渡医療圏が最も少なく 4.1% という結果であった。

図 1 職員の中の歯科衛生士の存在



#### 4 口腔に問題のある要介護高齢者の実態に関する認識

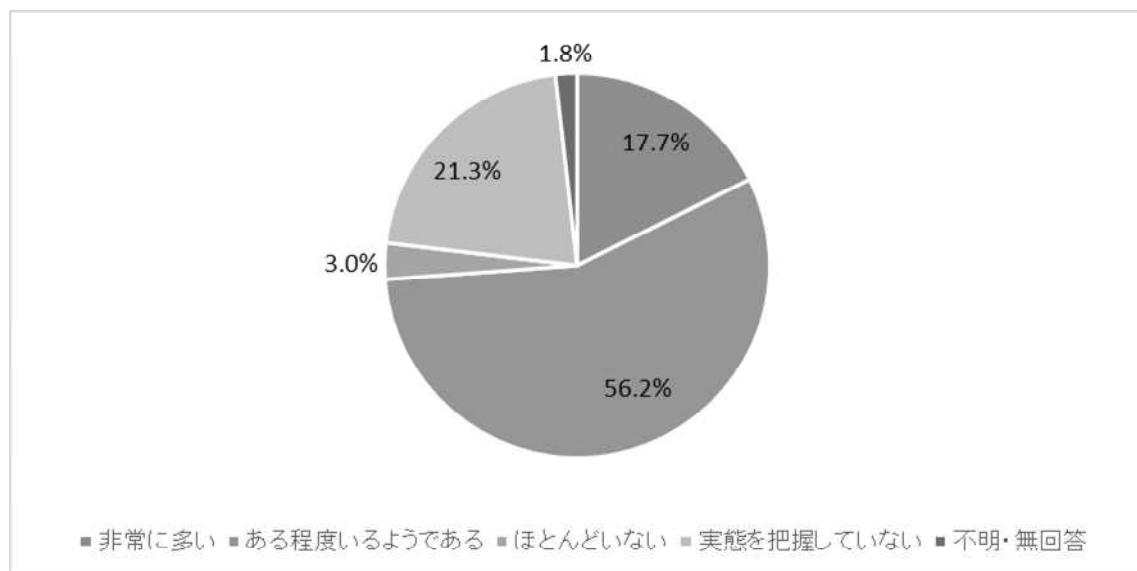
##### 【県全域】

回答者の事業所の所在する市町村区域において、「口腔に問題のある（義歯が合わない、十分口腔清掃ができない等）要介護高齢者はどの程度いるか」という質問に対して、『ある程度いるようである』が最も多く 926 施設（56.2%）となっている。次いで『実態を把握していない』が 351 施設（21.3%）であった。【図 2】

##### 【医療圏域】

医療圏ごとでは有意な差は見られなかった（カイ二乗検定,  $p = 0.057$ ）。

図 2 口腔内に問題のある要介護高齢者の実態に関する認識



## 5 歯科医師による訪問歯科診療の実施状況

### 【県全域】

回答者の事業所の所在する市町村区域の「要介護者に対する歯科医師による訪問歯科診療の実施状況」について、『少しは実施されているようだ』が最も多く 468 施設 (28.4%)、次いで『十分とは言えないがかなり実施されているようだ』が 445 施設 (27.0%) となっている。『実態を把握していない』が 409 施設 (24.8%) であった。[図 3-1]

### 【医療圏域】

医療圏別に見た場合、下越医療圏、魚沼医療圏では『十分実施されている』『十分とは言えないがかなり実施されているようだ』と回答した割合がどちらも 20%以下となっているが、その割合は最も多い新潟医療圏では 40%を超えており。医療圏が異なることで、訪問診療の実施状況に有意な差が見られた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）。[図 3-2]

図 3-1  
歯科医師による訪問診療  
の実施状況

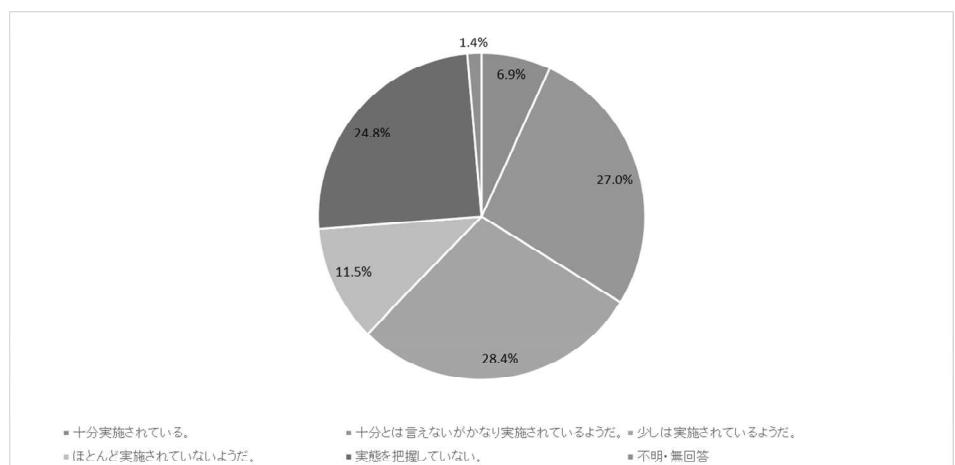
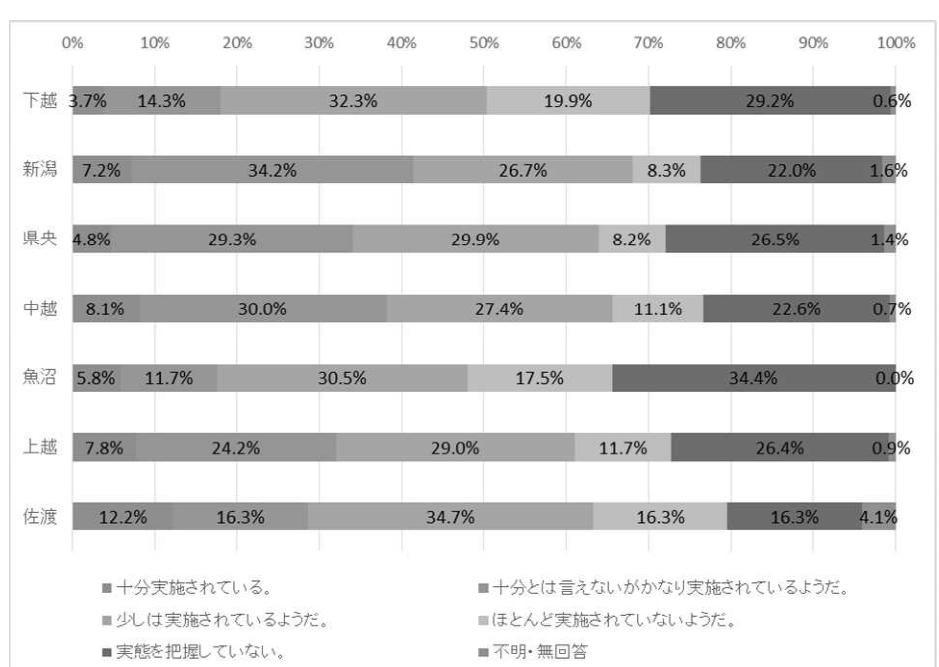


図 3-2  
歯科医師による訪問診療  
の実施状況（医療圏別）



## 6 歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況

### 【県全域】

回答者の事業所の所在する市町村区域の「要介護者に対する歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況」について、『実態を把握していない』が最も多く 606 施設 (36.8%)、次いで『ほとんど実施されていないようだ』が 338 施設 (20.5%) となっている。歯科医師による訪問歯科診療に比べ、実施状況、実態の把握状況について低いという結果が見られた。

【図 4-1】

### 【医療圏域】

医療圏別に見た場合、魚沼医療圏、佐渡医療圏では『十分実施されている』と回答した者は見られず、『十分とは言えないがかなり実施されているようだ』と回答した割合がどちらも 10%以下であった。特に魚沼医療圏では『少しは実施されているようだ』と合わせた割合も 15%を下回っており、最も多い上越医療圏 (約 40%) とは 2 倍以上の較差があるという結果になった。医療圏が異なることで、訪問口腔ケアの実施状況に有意な差が見られた (カイ二乗検定,  $p < 0.001$ )。【図 4-2】

図 4-1

歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況

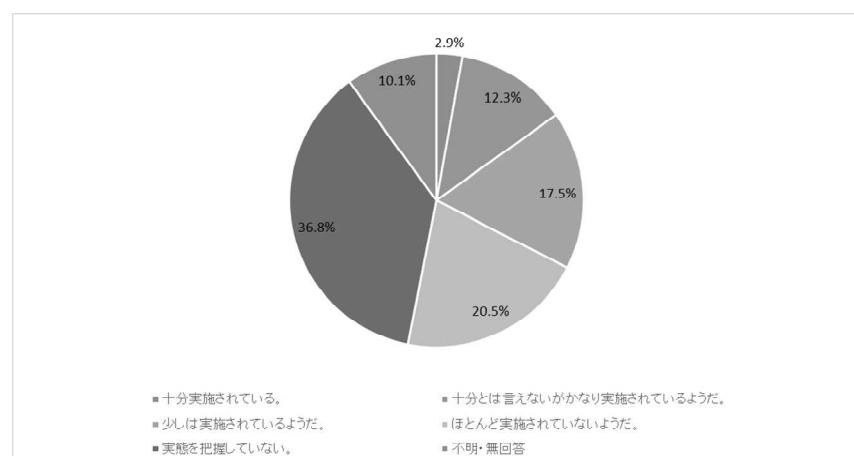
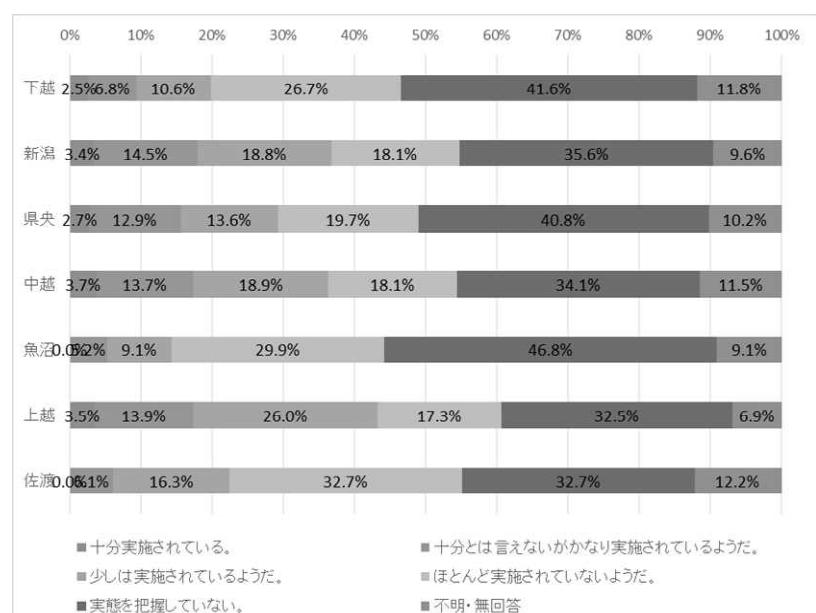


図 4-2

歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況（医療圏別）



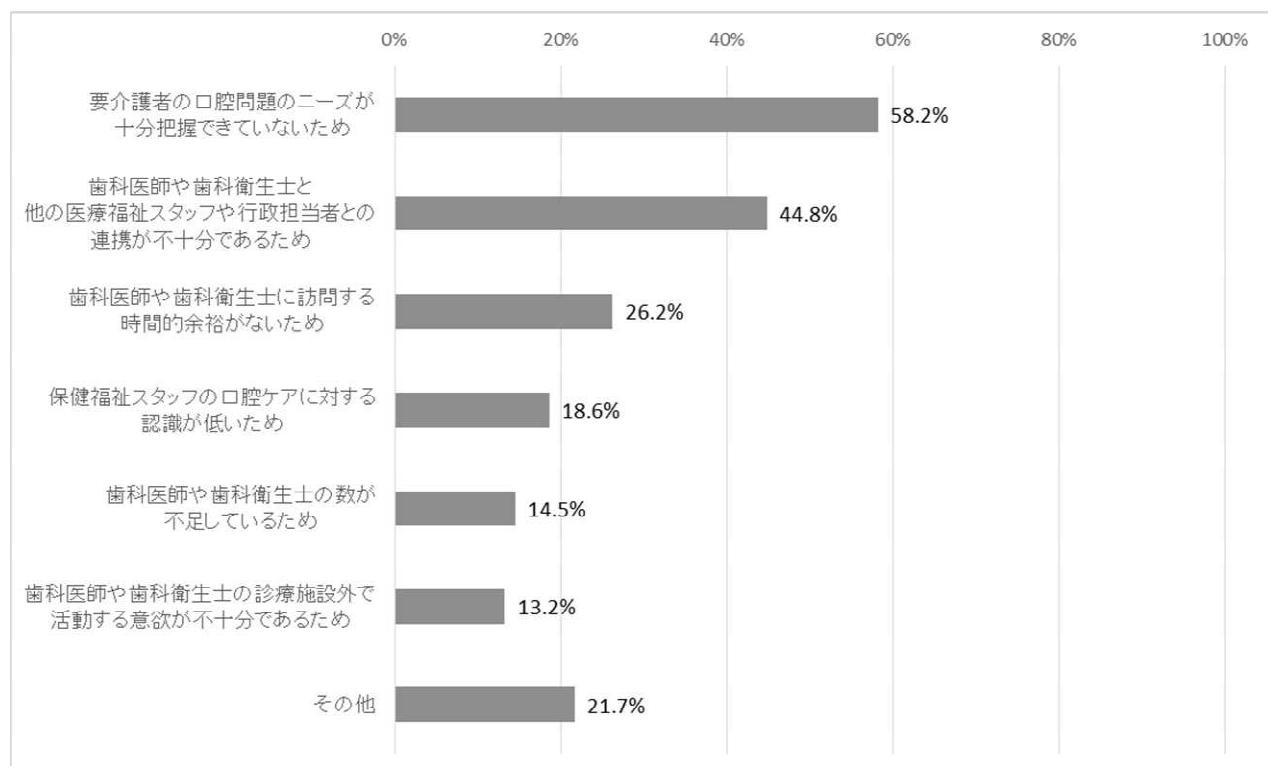
## 7 訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由

回答者の事業所の所在する市町村区域の「要介護者に対する訪問歯科診療あるいは訪問口腔ケアの実施状況」について、『少しは実施されているようだ』または『ほとんど実施されていないようだ』と回答した方に対し、「訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由は何だと思うか」質問した結果（複数回答可）

- ・最も多かったのは『要介護者の口腔問題のニーズが十分把握できていないため』で 457 施設（58.2%）
- ・次に多かったのは『歯科医師や歯科衛生士と他の医療福祉スタッフや行政担当者との連携が不十分であるため』で 352 施設（44.8%）であった。

[図5]

図5 訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由



## 8 要介護者に対する日常的な口腔内観察の実施状況

### 【県全域】

「要介護者口腔内観察を日常的に行っているか」という質問に対して、『概ねしている』が最も多く 798 施設 (48.4%)、次いで『常にしている』が 414 施設 (25.1%) であった。

[図 6-1]

### 【医療圏域】

医療圏別に見た場合、魚沼医療圏、佐渡医療圏において『常にしている』と回答した施設が 30% を超えていた。医療圏が異なることで、口腔内観察を日常的に行っているかどうかに有意な差が見られた（カイ二乗検定、 $p = 0.032$ ）。[図 6-2]

図 6-1

日常的な口腔内観察の実施状況

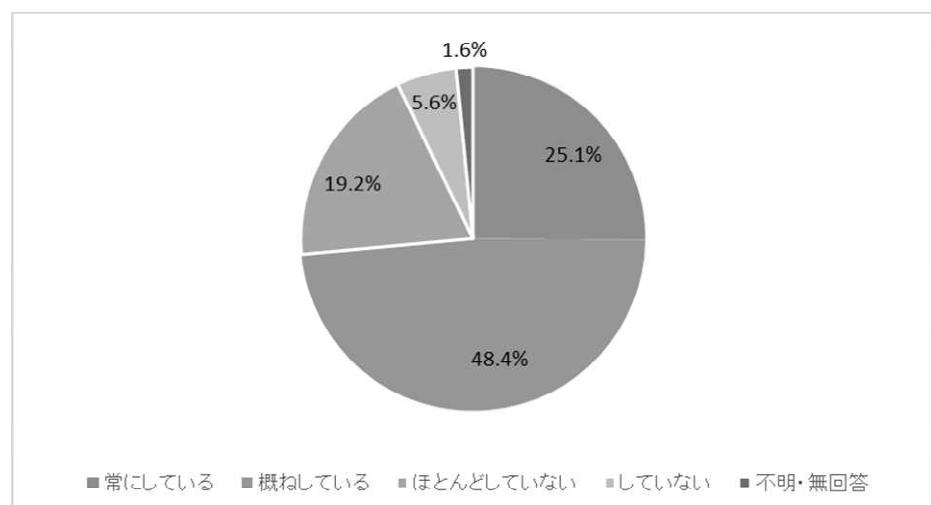
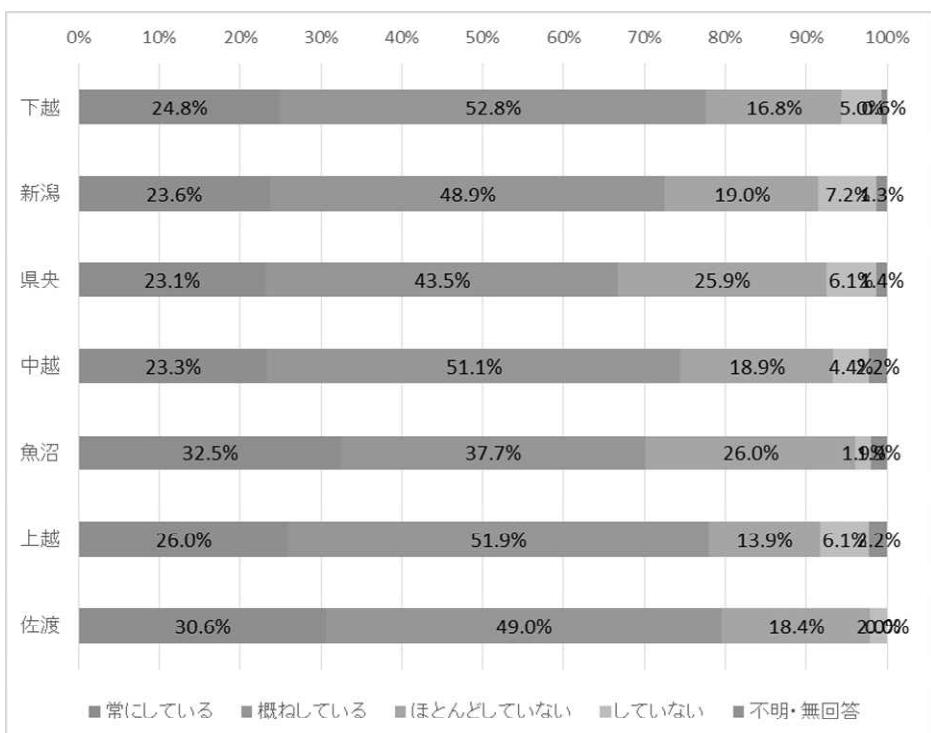


図 6-2

日常的な口腔内観察の実施状況（医療圏別）



## 9 ケアプランへの口腔ケアの組み込み状況

### 【県全域】

「ケアプラン（あるいは診療計画）に口腔ケアを組み込んでいるか」という質問に対して、『概ねしている』が最も多く 679 施設 (41.2%) となっている。次いで『ほとんどしていない』が 537 施設 (32.6%) であった。[図 7-1]

### 【医療圏域】

医療圏別に見た場合、上越医療圏、佐渡医療圏において『常にしている』『概ねしている』と回答した事業所が 60% を超えていた。その割合は最も低い県央医療圏では 50% 未満となっていたり、医療圏が異なることで、ケアプラン（あるいは診療計画）に口腔ケアを組み込んでいるかどうかに有意な差が見られた（カイ二乗検定、 $p = 0.021$ ）。[図 7-2]

図 7-1

ケアプランへの口腔ケア組み込み状況

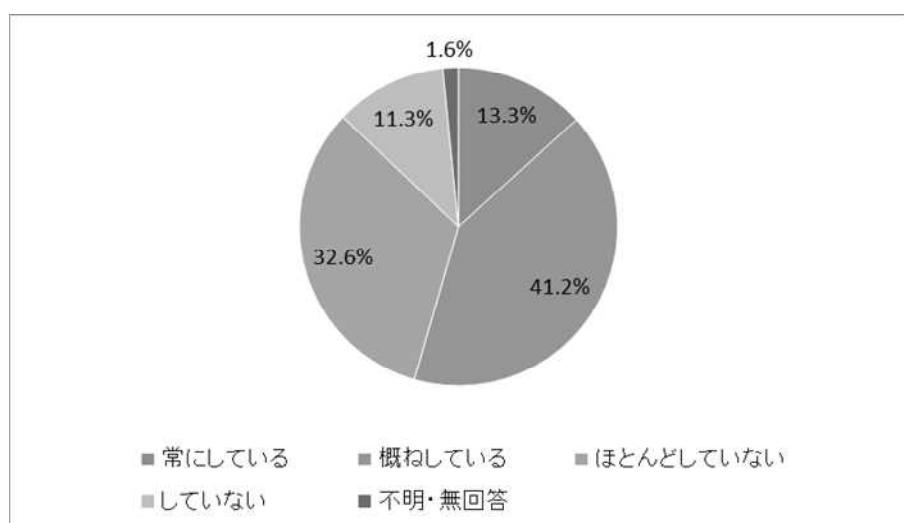
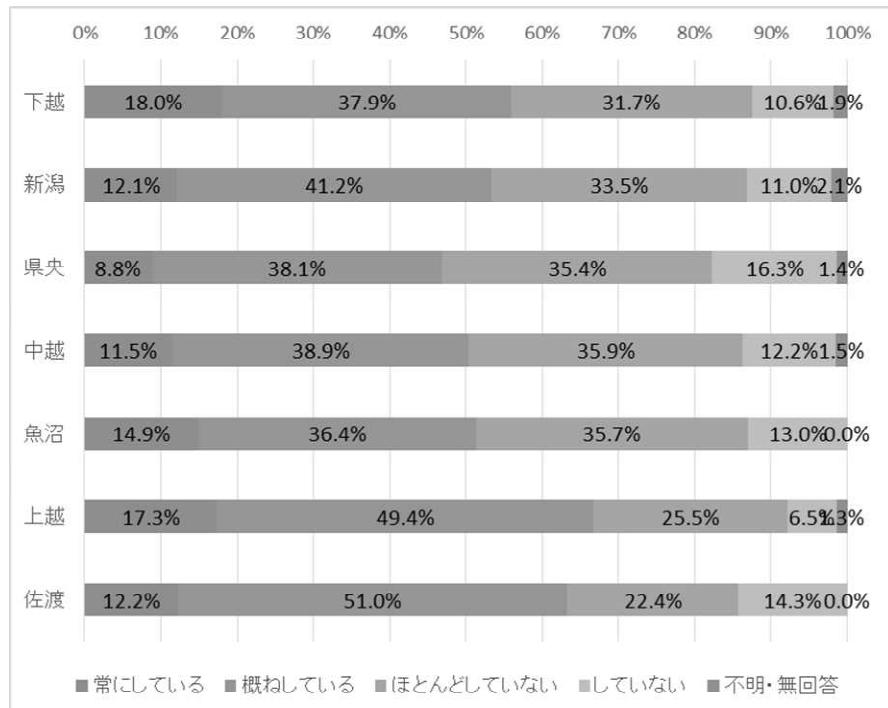


図 7-2

ケアプランへの口腔ケア組み込み状況（医療圏別）



## 10 要介護者に対する口腔内の問題点やニーズ把握の状況

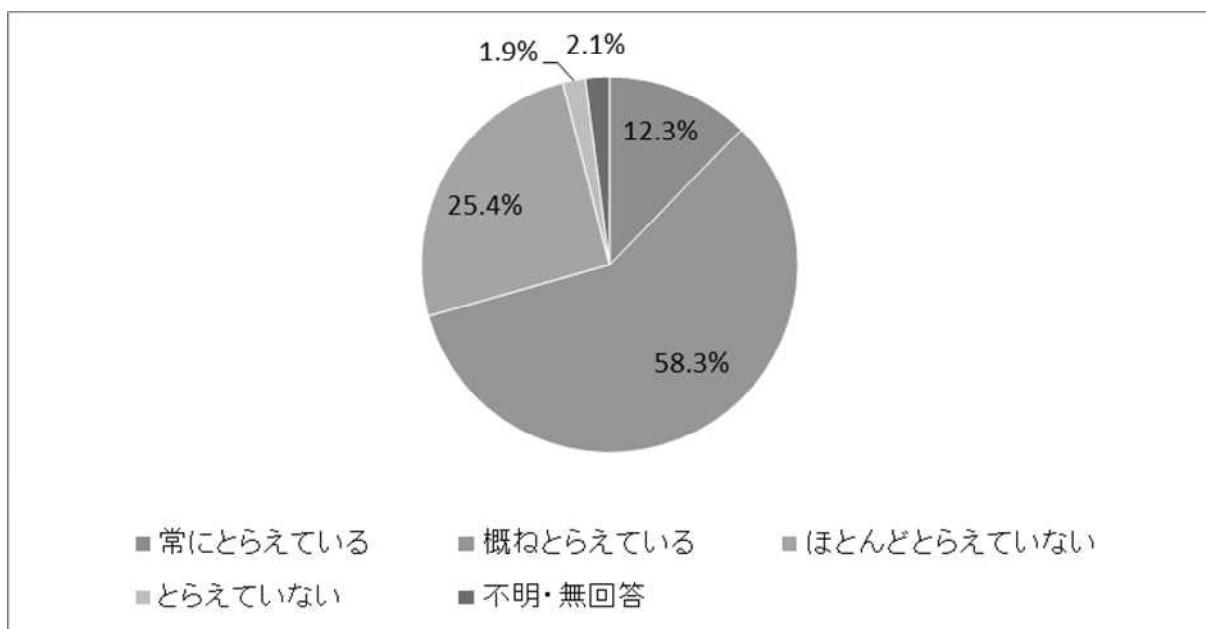
### 【県全域】

「要介護者に対して口腔内の問題点やニーズをとらえているか」という質問に対して、『概ねとらえている』が最も多く 960 施設 (58.3%) となっている。次いで『ほとんどとらえていない』が 419 施設 (25.4%) であった。[図 8]

### 【医療圏域】

医療圏ごとでは有意な差は見られなかった（カイ二乗検定,  $p = 0.474$ ）。

図 8 要介護者に対する口腔内の問題点やニーズ把握の状況



## 11 口腔内の状況をふまえた口腔ケアの実施状況

### 【県全域】

「要介護者に対して口腔内の問題点やニーズ」を『常にとらえている』または『概ねとらえている』と回答した方に対し、「口腔内の状況をふまえて口腔ケアを行っているか」質問した結果

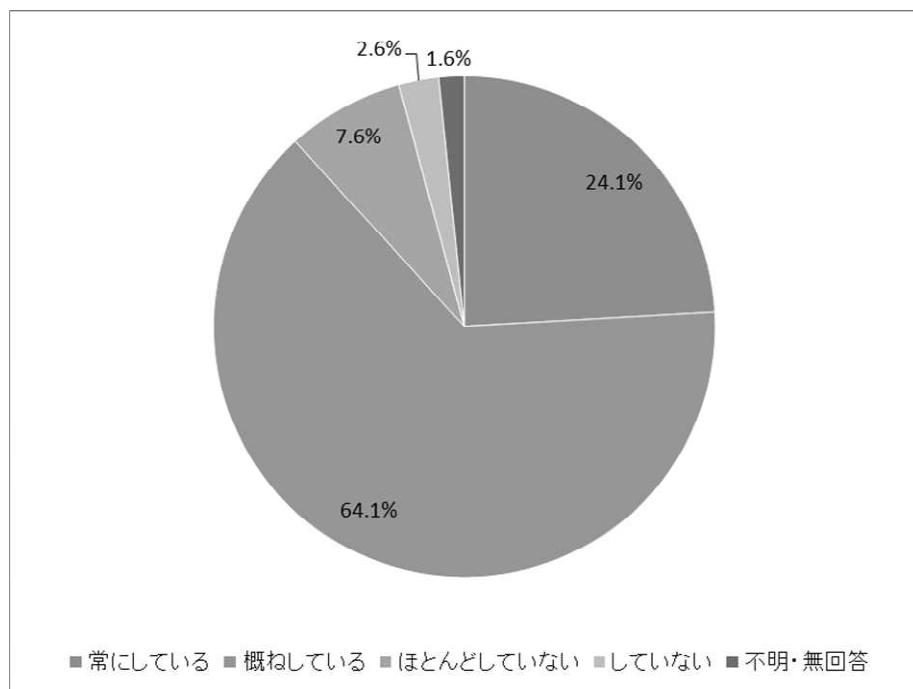
- ・最も多かったのは『概ねしている』で 746 施設 (64.1%)
- ・次に多かったのは『常にしている』で 280 施設 (24.1%) であった。

[図 9]

### 【医療圏域】

医療圏ごとでは有意な差は見られなかった（カイ二乗検定,  $p = 0.287$ ）。

図 9 口腔内の状況をふまえた口腔ケアの実施状況



## 12 介護者の口腔ケアの負担感に対する認識

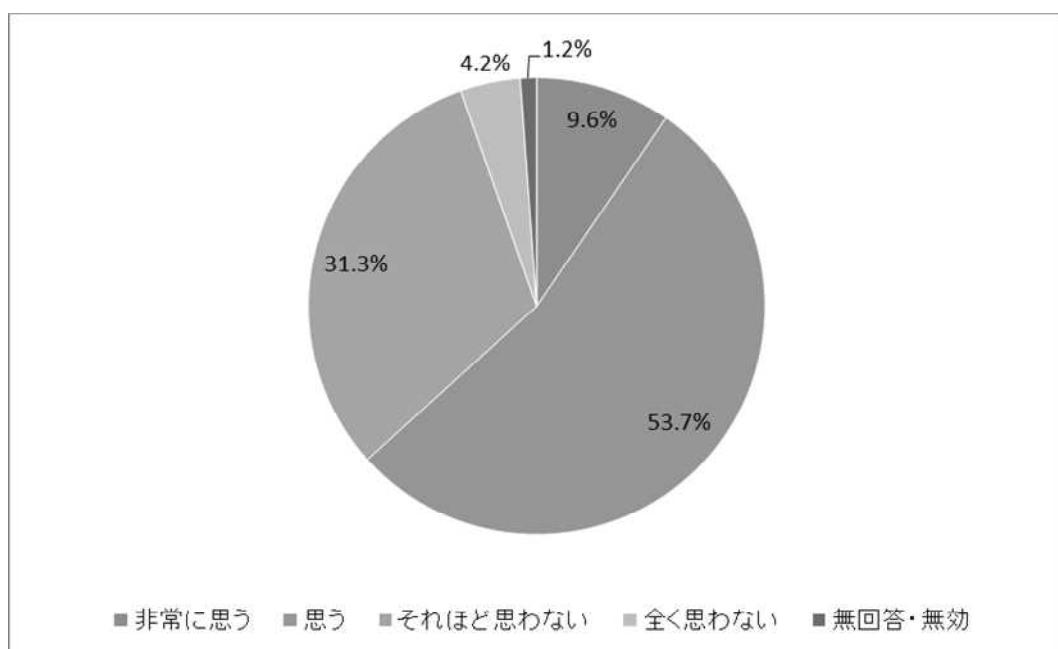
### 【県全域】

「口腔ケアは介護者にとって負担だと思うか」という質問に対して、『思う』が最も多く885 施設 (53.7%) となっている。次いで『それほど思わない』が 516 施設 (31.3%) であった。 [図 10]

### 【医療圏域】

医療圏ごとでは有意な差は見られなかった (カイ二乗検定,  $p = 0.978$ )。

図 10 介護者の口腔ケアの負担感に対する認識



### 13 口腔ケアに関する研修会の受講状況

#### 【県全域】

「今までに口腔ケアに関する研修会を受けたことはあるか」という質問に対し、『はい』と答えたのは 1,296 施設 (78.6%) であった。80%近くの回答者が研修会の受講経験があった。

【図 11-1】

#### 【医療圏域】

医療圏別に見た場合、受講経験が最も少なかったのは新潟医療圏で 74.6%，最も多かったのは佐渡医療圏で 85.7% であり、医療圏によって有意な差がみられた（カイ二乗検定、 $p = 0.004$ ）。【図 11-2】

図 11-1

口腔ケアに関する研修会の受講状況

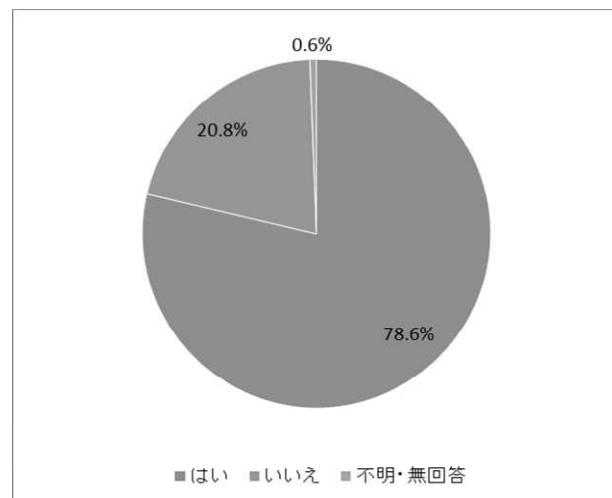
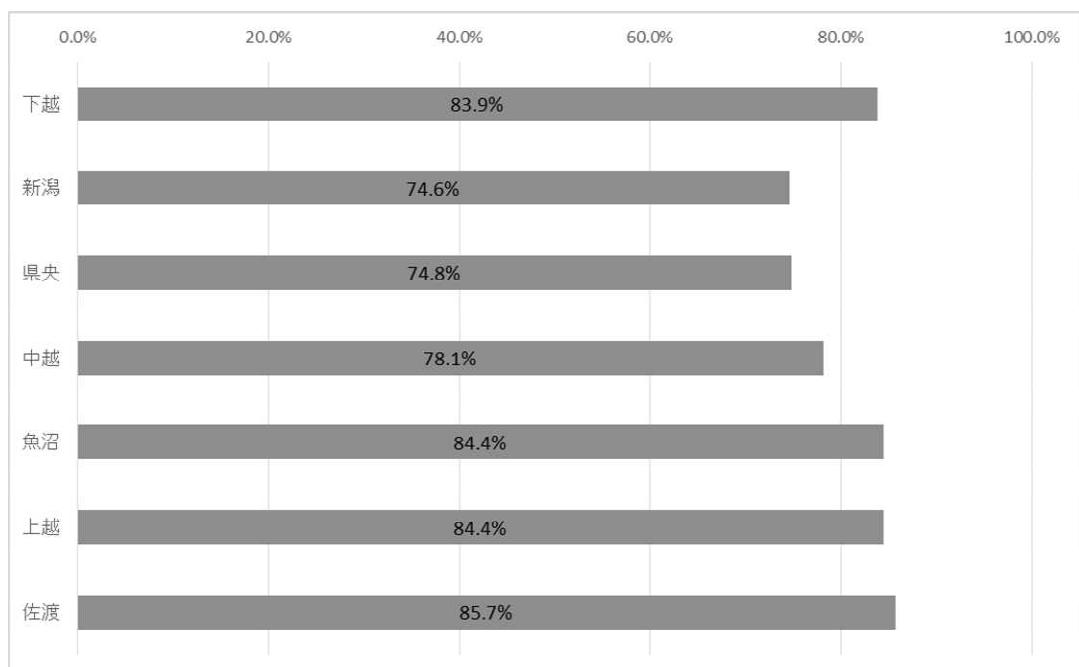


図 11-2 口腔ケアに関する研修会の受講の有無（医療圏別）



## 14 口腔ケア研修会の受講希望の有無

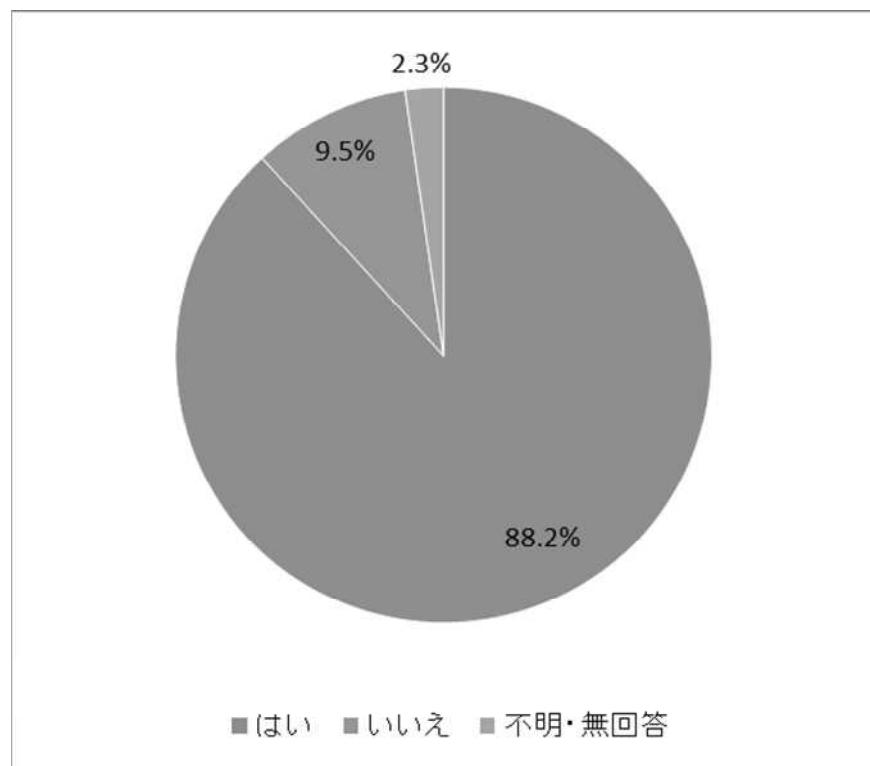
### 【県全域】

「今後口腔ケア研修会の受講希望」に対し、『はい』と答えたのは 1,453 施設 (88.2%) であった。90%近くの回答者が研修会の受講希望を持っていることが分かった。[図 12]

### 【医療圏域】

医療圏ごとでは有意な差は見られなかった (カイ二乗検定,  $p = 0.059$ )。

図 12 口腔ケア研修会の受講希望



## 15 歯科専門職（歯科医師等）との連携状況

### 【県全域】

「歯科専門職（歯科医師等）と日常的に連携をとっているか」という質問に対して、『ほとんどっていない』が最も多く 570 施設（34.6%）となっている。次いで『っていない』が 484 施設（29.4%）であった。歯科専門職との連携については、半数以上の事業所が不十分であるということが分かった。[図 13-1]

### 【医療圏域】

医療圏別に見た場合、下越医療圏、魚沼医療圏において『とっている』『概ねとっている』と回答した事業所が 30%未満であり、他医療圏と比較して少ないという結果が見られた。医療圏が異なることで、「歯科専門職（歯科医師等）と日常的に連携をとっているか」に有意な差が見られた（カイ二乗検定、 $p = 0.011$ ）。[図 13-2]

図 13-1

歯科専門職との連携状況

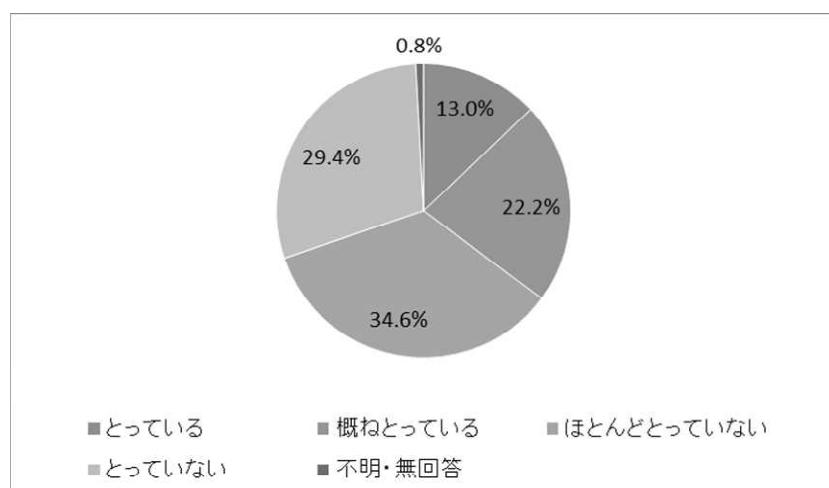
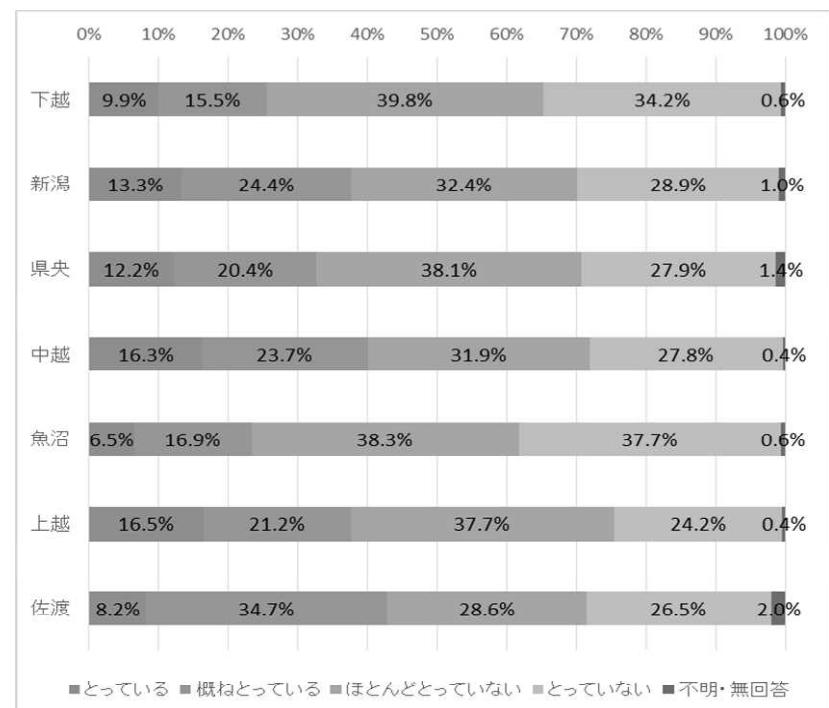


図 13-2

歯科専門職との連携状況

（医療圏別）



## 16 歯科医師、歯科衛生士等との相談体制

### 【県全域】

「歯科医師、歯科衛生士等に口腔に関する問題について相談すること」が『できる』と答えたのは 1,032 施設 (62.6%) となっている。一方、1/3 以上の回答者は『相談できない』と答えており、歯科専門職との連携不足がこの質問からも示唆される。[図 14-1]

### 【医療圏域】

医療圏別に見た場合、相談することが『できる』と答えた割合が最も少なかったのは県央医療圏で 56.5%，最も多かったのは佐渡医療圏で 75.5% であり、医療圏によって有意な差がみられた（カイ二乗検定、 $p = 0.001$ ）[図 14-2]

図 14-1

歯科専門職への相談可能割合

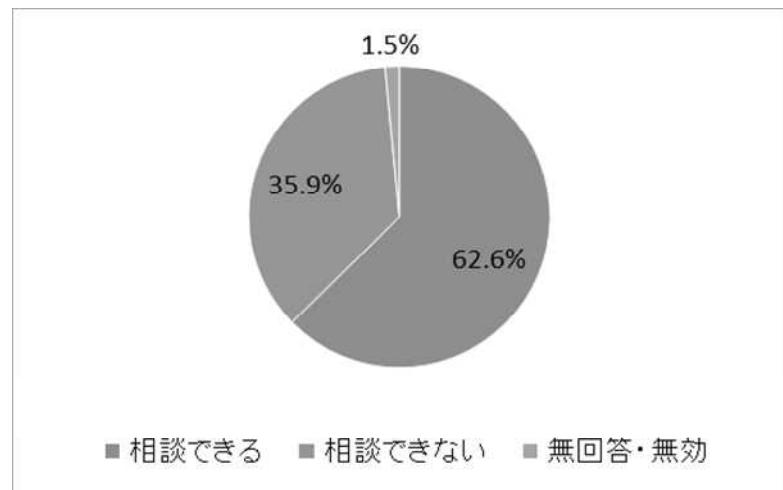
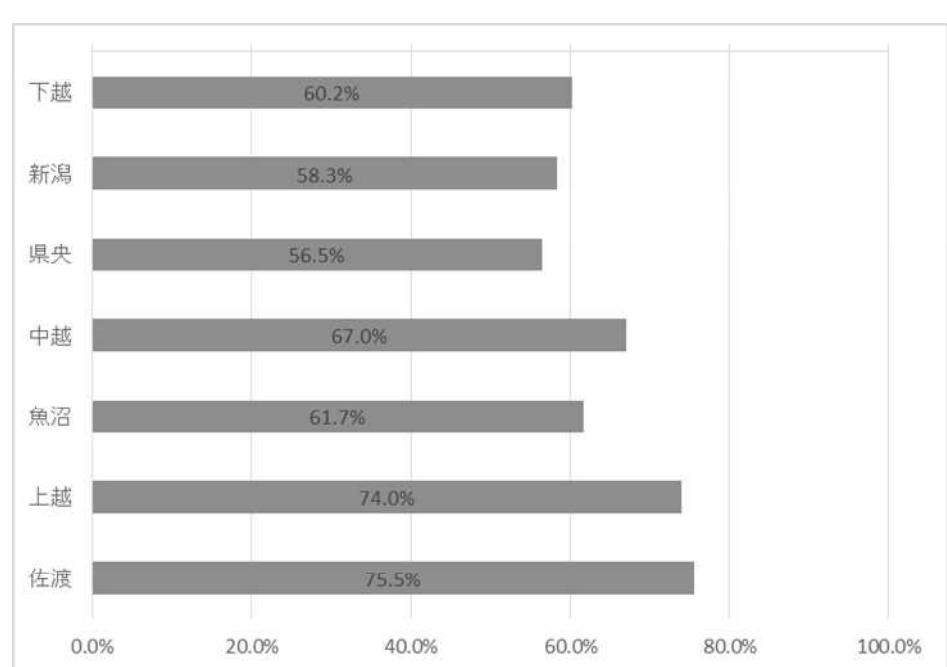


図 14-2

歯科専門職への相談可能割合（医療圏別）



## 17 協力歯科医の有無

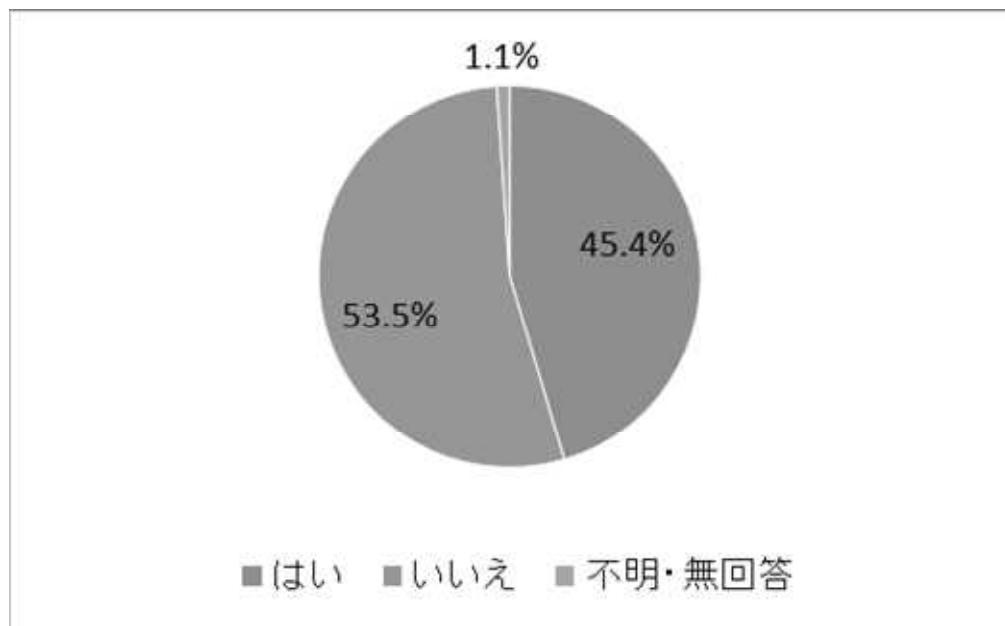
### 【県全域】

「協力歯科医」が『いる』と答えたのは 748 施設 (45.4%) であった。半数以上の事業所には協力歯科医がいないという現状が明らかになった。[図 15]

### 【医療圏域】

医療圏ごとでは有意な差は見られなかった（カイ二乗検定,  $p = 0.051$ ）。

図 15 協力歯科医の有無



### III 分析結果

#### 1 口腔ケアの負担感と各項目との関連

##### (1) 「口腔ケアを負担に思うか」と「歯科専門職と日常的に連携をとっているか」の関連

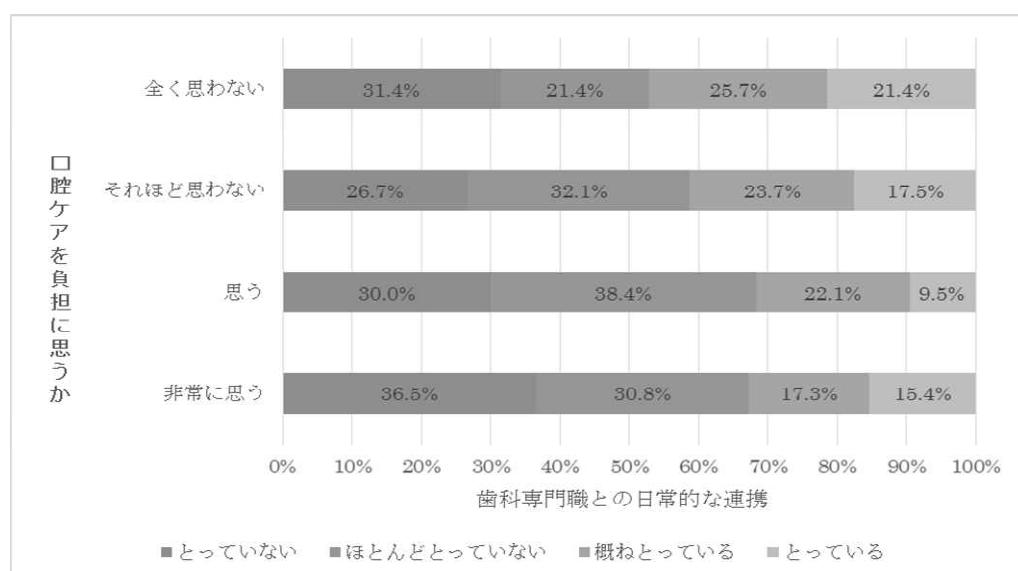
口腔ケアを『非常に負担に思う』と回答した事業所のうち 65%以上が歯科専門職と日常的に連携を『っていない』と『ほとんどっていない』と回答しており、口腔ケアを負担に『全く思わない』と回答した事業所のうち、45%以上が歯科専門職と連携を『とっている』『概ねとっている』と回答しており、有意な差が認められた(カイ二乗検定,  $p < 0.001$ )。

口腔ケアを負担に思っている事業所の方が、歯科専門職との連携がとられていないと考えられた。[表 3, 図 16]

表3 口腔ケアを負担に思うかと歯科専門職との連携状況の関連

歯科専門職との連携	ていない	ほとんどいない	概ねとっている	とっている	合計					
口腔ケアを負担に思うか										
全く思わない	22	31.4%	15	21.4%	18	25.7%	15	21.4%	70	100%
それほど思わない	137	26.7%	165	32.1%	122	23.7%	90	17.5%	514	100%
思う	264	30.0%	338	38.4%	195	22.1%	84	9.5%	881	100%
非常に思う	57	36.5%	48	30.8%	27	17.3%	24	15.4%	156	100%
合計	480	29.6%	566	34.9%	362	22.3%	213	13.1%	1621	100%

図 16 口腔ケアを負担に思うかと歯科専門職との連携状況の関連



## (2) 「口腔ケアを負担に思うか」と「歯科専門職に口腔に関する問題について相談できるかどうか」の関連

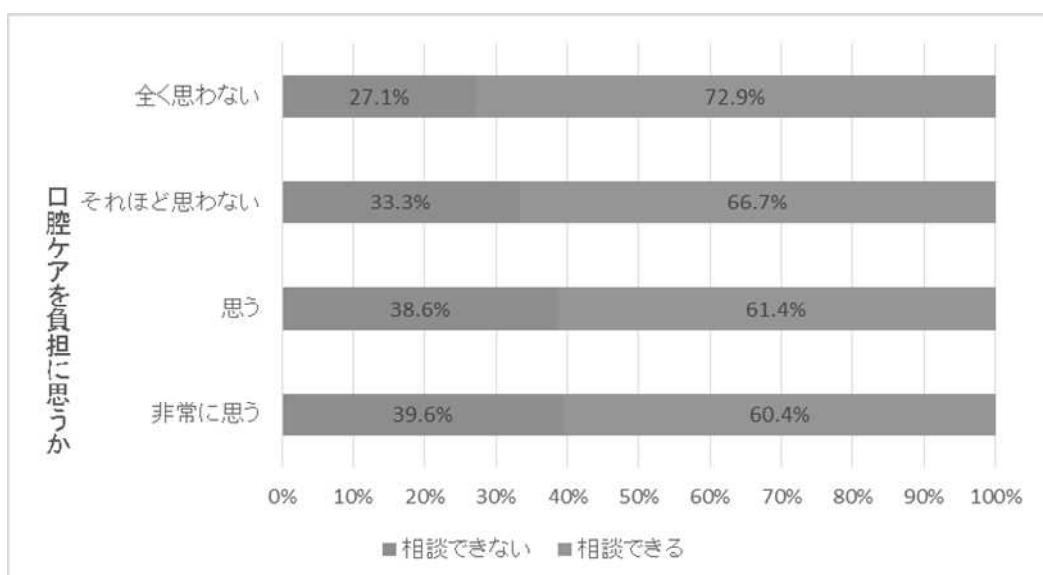
口腔ケアを負担に『非常に思う』と回答した事業所のうち約40%は協力歯科医に『相談できない』と回答し、約60%は『相談できる』と回答した。また、口腔ケアを負担に『全く思わない』と回答した事業所のうち約27%は協力歯科医に『相談できない』と回答し、約73%は『相談できる』と回答した。

歯科専門職と相談ができない事業所ほど口腔ケアを非常に負担に感じる割合が高く、歯科専門職と連携がとれている事業所ほど口腔ケアを負担に感じていない傾向にあったが、有意な差は認められなかった（カイ二乗検定、 $p = 0.152$ ）。[表4, 図17]

表4 口腔ケアを負担に思うかと歯科専門職に相談できるかどうかの関連

歯科専門職に相談できるか 口腔ケアを負担に思うか	相談できない	相談できる	合計
全く思わない	19 27.1%	51 72.9%	70 100%
それほど思わない	171 33.3%	343 66.7%	514 100%
思う	337 38.6%	536 61.4%	873 100%
非常に思う	61 39.6%	93 60.4%	154 100%
合計	588 36.5%	1,023 63.5%	1,611 100%

図17 口腔ケアを負担に思うかと歯科専門職に相談できるかどうかの関連



### (3) 「口腔ケアを負担に思うか」と「協力歯科医の有無」との関連

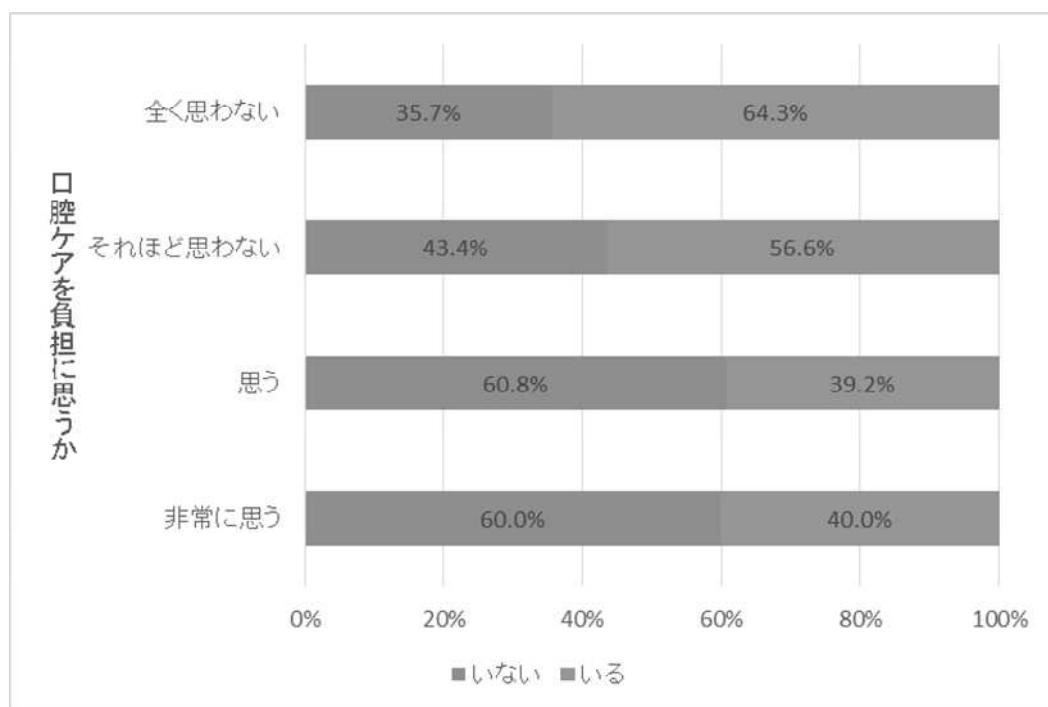
口腔ケアを負担に『非常に思う』と回答した事業所のうち約60%は協力歯科医が『いない』事業所で、口腔ケアを負担に『全く思わない』と回答した事業所のうち約60%以上は協力歯科医が『いる』事業所であり、有意な差が認められた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）。口腔ケアを負担に思わない事業所の方が、協力歯科医が存在していると考えられた。

[表5, 図18]

表5 口腔ケアを負担に思うかと協力歯科医の有無との関連

協力歯科医の有無	いない		いる		合計	
口腔ケアを負担に思うか						
全く思わない	25	35.7%	45	64.3%	70	100%
それほど思わない	222	43.4%	290	56.6%	512	100%
思う	535	60.8%	345	39.2%	880	100%
非常に思う	93	60.0%	62	40.0%	155	100%
合計	875	54.1%	742	45.9%	1,617	100%

図18 口腔ケアを負担に思うかと協力歯科医の有無との関連



#### (4) 「口腔ケアを負担に思うか」と「日常的に口腔内を観察しているか」の関連

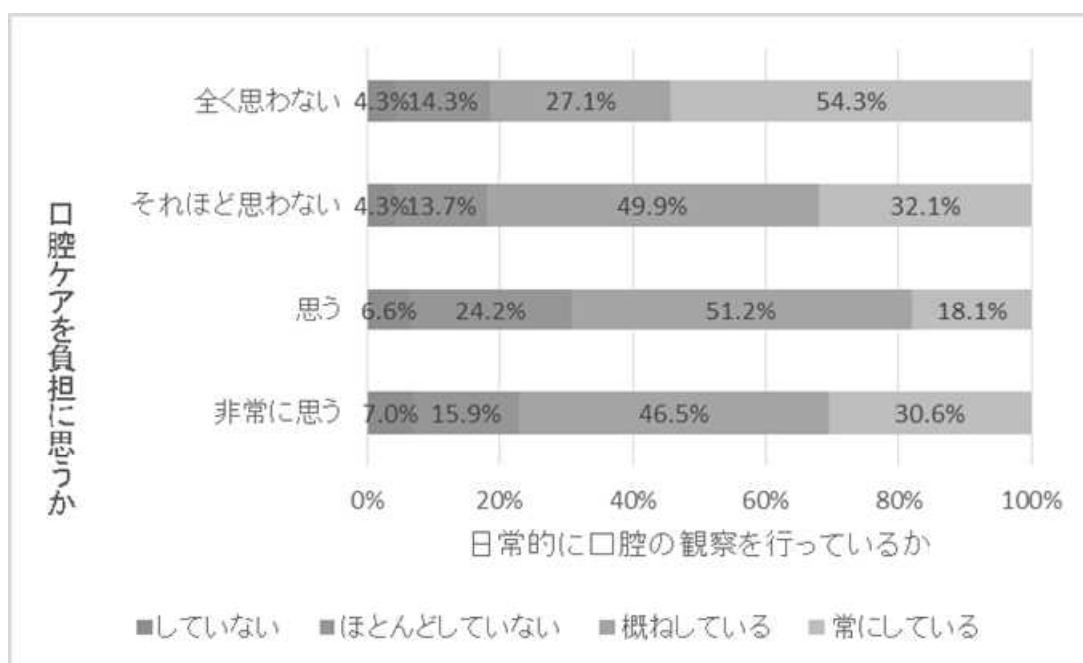
口腔ケアを負担に『非常に思う』と回答した事業所で、日常的に口腔内の観察を『していない』事業所は約7%，『常にして』いる事業所は約31%だったが、口腔ケアを負担に『全く思わない』と回答した事業所のうち約4%が日常的に口腔内の観察を『していない』と回答し、約54%が『常にして』いると回答しており、有意な差が認められた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）。

口腔ケアを負担に思わない事業所の方が、日常的に口腔内の観察を行っていると考えられた。[表6, 図19]

表6 口腔ケアを負担に思うかと日常的に口腔内を観察しているかの関連

日常的に口腔内を観察しているか 口腔ケアを負担に思うか	日常的に口腔内を観察しているか				合計
	していない	ほとんどしていない	概ねしている	常にしている	
全く思わない	3 4.3%	10 14.3%	19 27.1%	38 54.3%	70 100%
それほど思わない	22 4.3%	70 13.7%	255 49.9%	164 32.1%	511 100%
思う	57 6.6%	210 24.2%	445 51.2%	157 18.1%	869 100%
非常に思う	11 7.0%	25 15.9%	73 46.5%	48 30.6%	157 100%
合計	93 5.8%	315 19.6%	792 49.3%	407 25.3%	1,607 100%

図19 口腔ケアを負担に思うかと日常的に口腔内を観察しているかの関連



## (5) 「口腔ケアを負担に思うか」と「診療計画への口腔ケアの組み込み状況」との関連

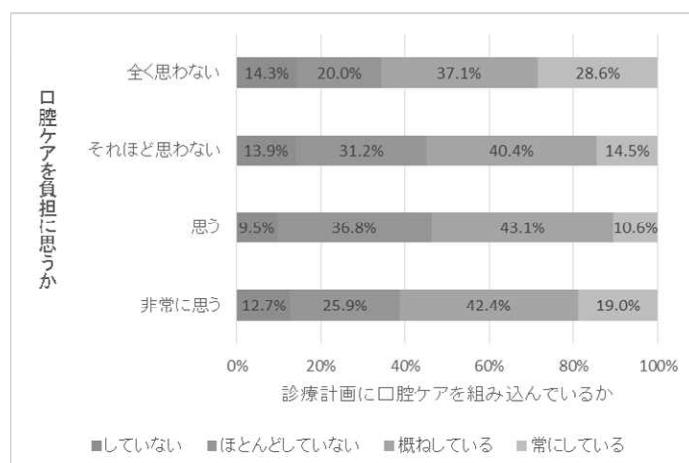
口腔ケアを負担に『非常に思う』と回答した事業所の約 61%, 『全く思わない』と回答した事業所の約 65%は口腔ケアの診療計画への組み込みを『常にしている』『概ねしている』と回答したが、負担に『思う』と回答した事業所の約 53%, 『それほど思わない』と回答した事業所の約 54%は口腔ケアの診療計画への組み込みを『常にしている』『概ねしている』と回答し、有意な差が認められた（カイ二乗検定,  $p < 0.001$ ）。

これより、口腔ケアを負担に『非常に思う』, 『全く思わない』と回答した事業所は、いずれにおいても診療計画に口腔ケアを組み込んでいることが分かった。背景にどのような要因があるか、この調査から詳しいことは分からぬが、口腔ケアを診療計画に組み込む際に積極的に組み込んだか、もしくは、やむを得ず組み込んだかの違いで口腔ケアに対する感じ方が変わった可能性も考えられる。[表 7, 図 20]

表 7 口腔ケアを負担に思うかと診療計画への口腔ケアの組み込み状況との関連

診療計画への口腔ケア組み込み状況 口腔ケアを負担に思うか	していない	ほとんどしていない	概ねしている	常にしている	合計					
全く思わない	10	14.3%	14	20.0%	26	37.1%	20	28.6%	70	100%
それほど思わない	71	13.9%	159	31.2%	206	40.4%	74	14.5%	510	100%
思う	83	9.5%	320	36.8%	375	43.1%	92	10.6%	870	100%
非常に思う	20	12.7%	41	25.9%	67	42.4%	30	19.0%	158	100%
合計	184	11.4%	534	33.2%	674	41.9%	216	13.4%	1,608	100%

図 20 口腔ケアを負担に思うかと診療計画への口腔ケアの組み込み状況との関連



#### (6) 「口腔ケアを負担に思うか」と「口腔内の問題点やニーズを把握しているか」との関連

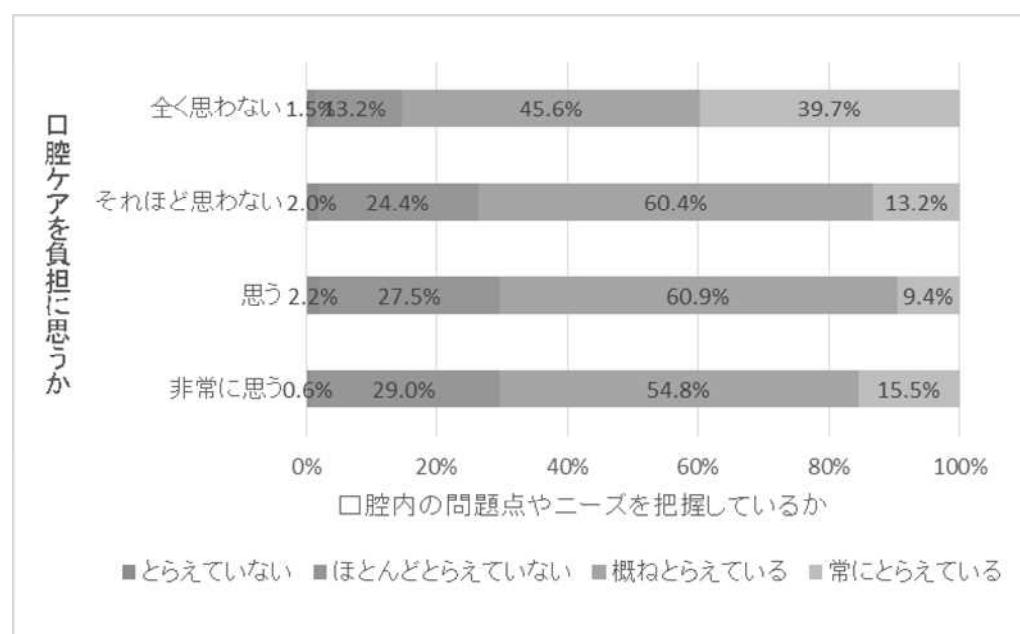
口腔ケアを負担に『非常に思う』または、『思う』と回答した事業所では、口腔内の問題点やニーズを『常にとらえている』または、『概ねとらえている』と回答した事業所はどちらも約70%だが、負担に『全く思わない』と回答した事業所のうち『常にとらえている』または、『概ねとらえている』と回答した事業所は約85%であり、有意な差が認められた(カイ二乗検定、 $p < 0.001$ )。

口腔ケアを負担に思わない事業所の方が、口腔内の問題点やニーズを把握していると考えられた。[表8、図21]

表8 口腔ケアを負担に思うかと口腔内の問題点やニーズを把握しているかとの関連

口腔ケアを負担に思うか	口腔内の問題点やニーズを把握しているか				合計
	とらえていない	ほとんどとらえていない	概ねとらえている	常にとらえている	
全く思わない	1 1.5%	9 13.2%	31 45.6%	27 39.7%	68 100%
それほど思わない	10 2.0%	124 24.4%	307 60.4%	67 13.2%	508 100%
思う	19 2.2%	239 27.5%	530 60.9%	82 9.4%	870 100%
非常に思う	1 0.6%	45 29.0%	85 54.8%	24 15.5%	155 100%
合計	31 1.9%	417 26.0%	953 59.5%	200 12.5%	1,601 100%

図21 口腔ケアを負担に思うかと口腔内の問題点やニーズを把握しているかとの関連



## 2 口腔ケアに関する研修会の受講経験と各項目との関連

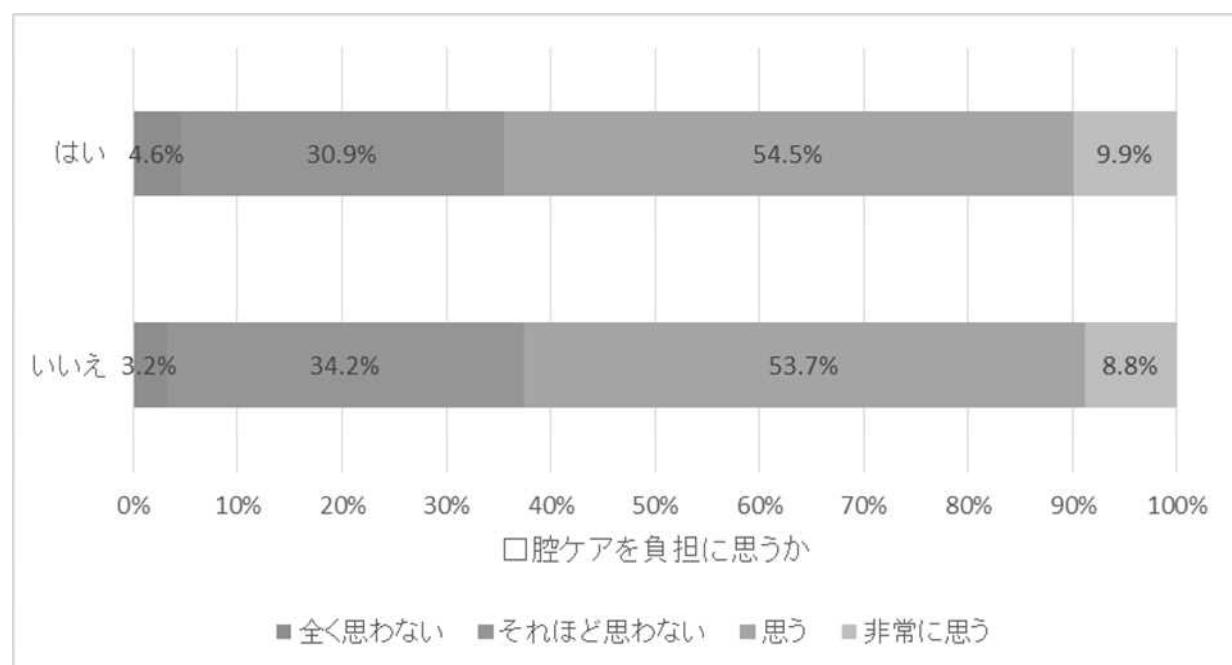
### (1) 「口腔ケアに関する研修会の受講経験」と「口腔ケアを負担に思うか」との関連

研修会を受けたことがあるかという質問に対して、『はい』と回答した事業所と『いいえ』と回答した事業所どちらも口腔ケアを負担に『思う』『非常に思う』と回答した事業所は約60%以上であり、有意差は認められなかった（カイ二乗検定、 $p = 0.492$ ）。[表9, 図22]

表9 研修会の受講経験と口腔ケアを負担に思うかとの関連

口腔ケアを負担に 思うか 研修会受講 経験	全く 思わない	それほど 思わない	思う	非常に 思う	合計
はい	59 4.6%	398 30.9%	702 54.5%	128 9.9%	1,287 100%
いいえ	11 3.2%	116 34.2%	182 53.7%	30 8.8%	339 100%
合計	70 4.3%	514 31.6%	884 54.4%	158 9.7%	1,626 100%

図22 研修会の受講経験と口腔ケアを負担に思うかとの関連



## (2) 「口腔ケアに関する研修会の受講経験」と「診療計画に口腔ケアを組み込んでいるか」との関連

研修会を受けたことがある回答者の約60%は診療計画に口腔ケアを組み込むことについて、『常にしている』『概ねしている』と回答しており、研修会を受けたことがない事業所ではその割合は約40%という結果であり、有意な差が認められた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）。

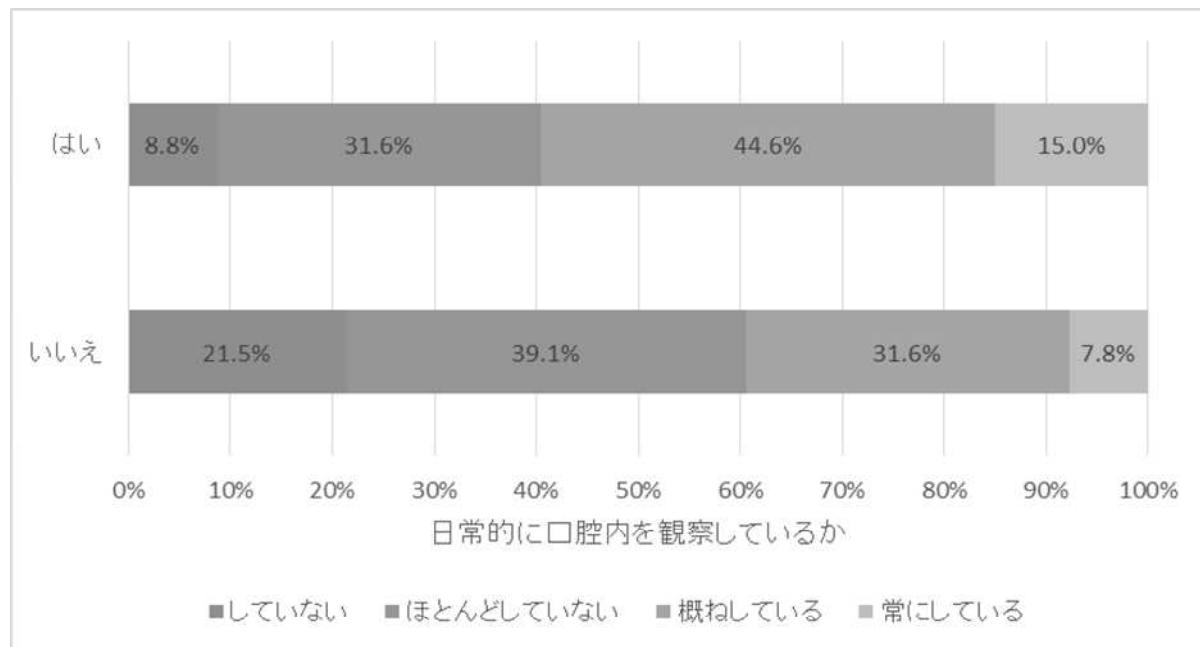
研修会の受講経験のある事業所の方が、診療計画に口腔ケアを組み込んでいることが分かった。

[表 10, 図 23]

表 10 研修会の受講経験と診療計画に口腔ケアを組み込んでいるかとの関連

口腔ケアを負担 に思うか 研修会受講経験	していない	ほとんど していない	概ねして いる	常にして いる	合計
はい	113 8.8%	405 31.6%	571 44.6%	192 15.0%	1,281 100%
いいえ	72 21.5%	131 39.1%	106 31.6%	26 7.8%	335 100%
合計	185 11.4%	536 33.2%	677 41.9%	218 13.5%	1,616 100%

図 23 研修会の受講経験と診療計画に口腔ケアを組み込んでいるかとの関連



### (3) 「口腔ケアに関する研修会の受講経験」と「日常的に口腔内を観察しているかどうか」との関連

研修会を受けたことがある事業所の約 80%は日常的に口腔内の観察を『常にしてている』『概ねしている』と回答し、研修会を受けたことがない事業所では、その割合は約 60%という結果であり、有意な差が認められた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）。

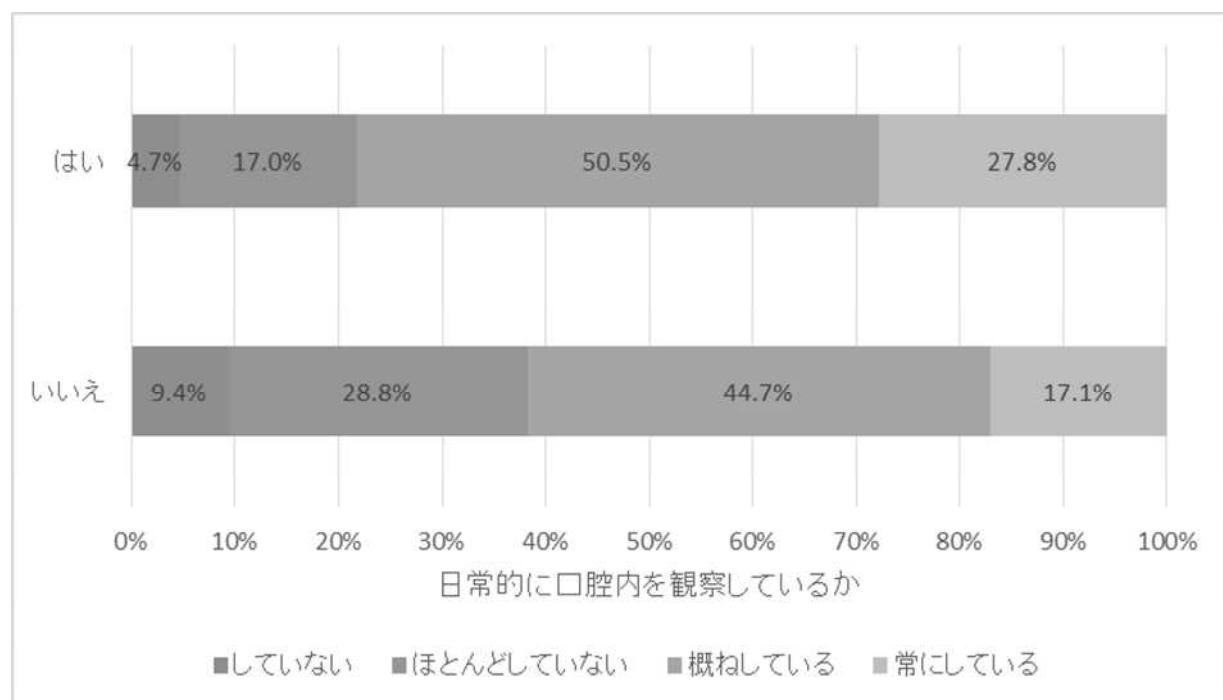
研修会受講経験のある方が、日常的に要介護者の口腔内を観察していることが分かった。

[表 11, 図 24]

表 11 研修会の受講経験と日常的に口腔内を観察しているかどうかとの関連

研修会受講経験	日常的に口腔内を観察しているかどうか	していない	ほとんどしていない	概ねしている	常にしてている	合計				
はい	60	4.7%	217	17.0%	644	50.5%	355	27.8%	1,276	100%
いいえ	32	9.4%	98	28.8%	152	44.7%	58	17.1%	340	100%
合計	92	5.7%	315	19.5%	796	49.3%	413	25.6%	1,616	100%

図 24 研修会の受講経験と日常的に口腔内を観察しているかどうかとの関連



#### (4) 「口腔ケアに関する研修会の受講経験」と「口腔内の問題点やニーズをとらえているか」との関連

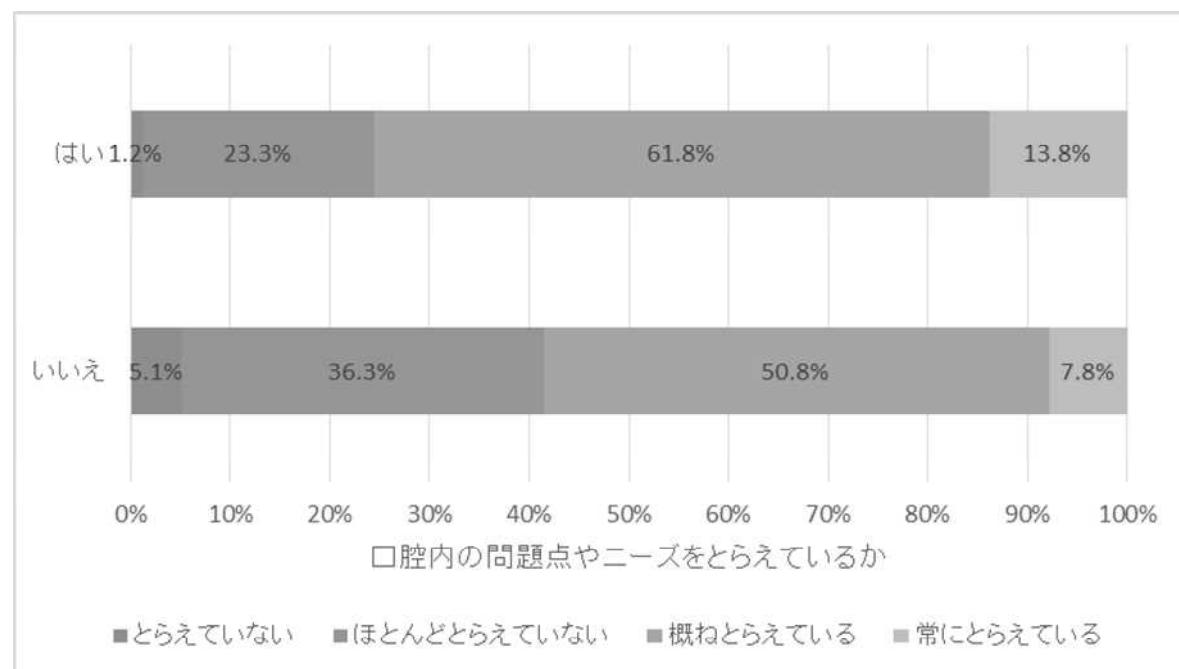
研修会を受けたことがある事業所の約75%は要介護者の口腔内の問題点やニーズを『常にとらえている』『概ねとらえている』と回答し、研修会を受けたことがない事業所では、その割合は約60%という結果であり、有意な差が認められた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）。

研修会受講経験のある方が、要介護者の口腔内の問題点やニーズをとらえていることが分かった。[表12, 図25]

表12 研修会の受講経験と口腔内の問題点やニーズをとらえているかとの関連

研修会受講経験	とらえていない	ほとんどとらえていない	概ねとらえている	常にとらえている	合計
はい	15 1.2%	297 23.3%	789 61.8%	176 13.8%	1,277 100%
いいえ	17 5.1%	121 36.3%	169 50.8%	26 7.8%	333 100%
合計	32 2.0%	418 26.0%	958 59.5%	202 12.5%	1,610 100%

図25 研修会の受講経験と口腔内の問題点やニーズをとらえているかとの関連



### 3 「勤務歯科衛生士の有無」及び「協力歯科医の有無」と各項目との関連

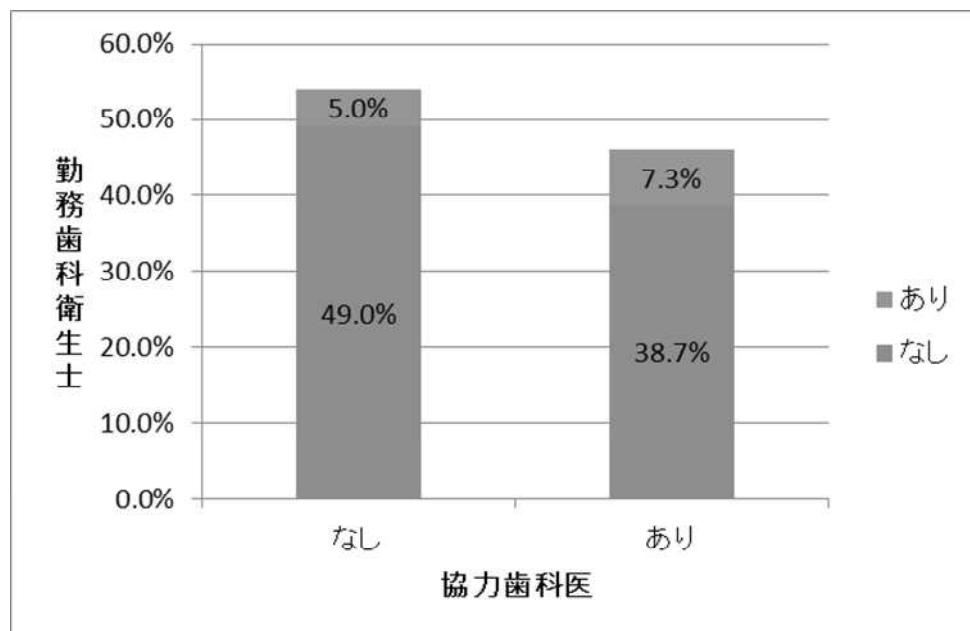
事務所を勤務歯科衛生士の有無と協力歯科医の有無により 4 つに区分した。

[表 13, 図 26]

表 13 勤務歯科衛生士及び協力歯科医の有無の状況

勤務歯科衛生士	協力歯科医		合計
	なし	あり	
なし	792 (49.0%)	625 (38.7%)	1,417
あり	81 (5.0%)	118 (7.3%)	199
合計	873	743	1,616

図 26 勤務歯科衛生士及び協力歯科医の有無の状況



(1) 「協力歯科医、勤務歯科衛生士の存在」と「要介護者の口腔内の観察を日常的に行っているかどうか」との関連

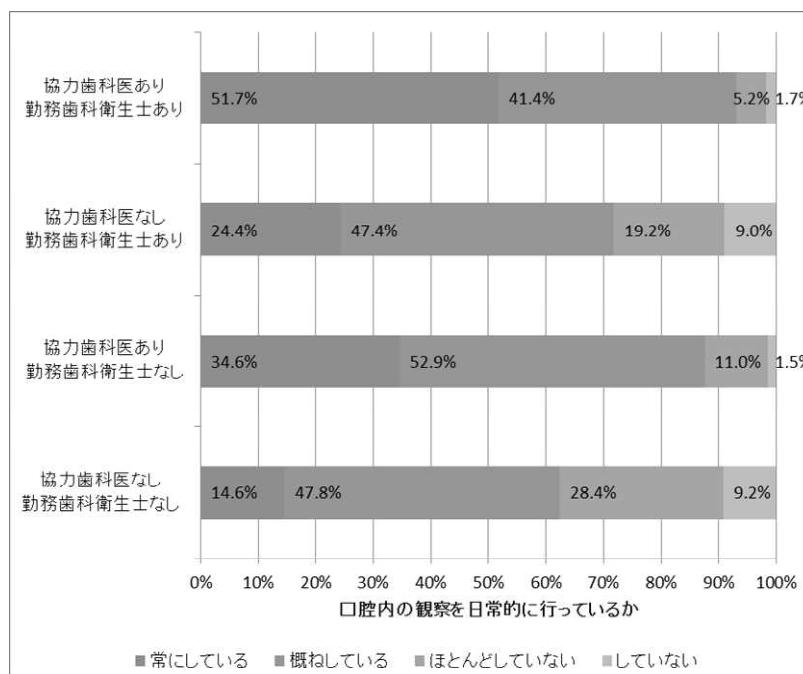
協力歯科医、勤務歯科衛生士の両方が存在する事業所では 90%以上が『常にしている』『概ねしている』と回答していた。一方、どちらの歯科専門職も存在していない事業所ではその割合は 70%以下という結果であり、有意な関連が認められた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）。

歯科専門職が存在する事業所の方が、口腔内の観察を日常的に行っていることが分かった。[表 14, 図 27]

表 14 歯科専門職との連携状況と口腔内の観察を日常的に行っているかとの関連

協力歯科医		なし		あり		なし		あり		合計
勤務歯科衛生士		なし		なし		あり		あり		
的 に 行 っ て い る か 要 介 護 者 の 口 腔 内 の 観 察 を 日 常 的 に 行 っ て い る か	常にしている	114	14.6%	214	34.6%	19	24.4%	60	51.7%	407
	概ねしている	374	47.8%	327	52.9%	37	47.4%	48	41.4%	786
	ほとんどしていない	222	28.4%	68	11.0%	15	19.2%	6	5.2%	311
	していない	72	9.2%	9	1.5%	7	9.0%	2	1.7%	90
	合計	782	100%	618	100%	78	100%	116	100%	1,594

図 27 歯科専門職との連携状況と口腔内の観察を日常的に行っているかとの関連



## (2) 「協力歯科医、勤務歯科衛生士の存在」と「ケアプラン（あるいは診療計画）に口腔ケアを組み込んでいるかどうか」との関連

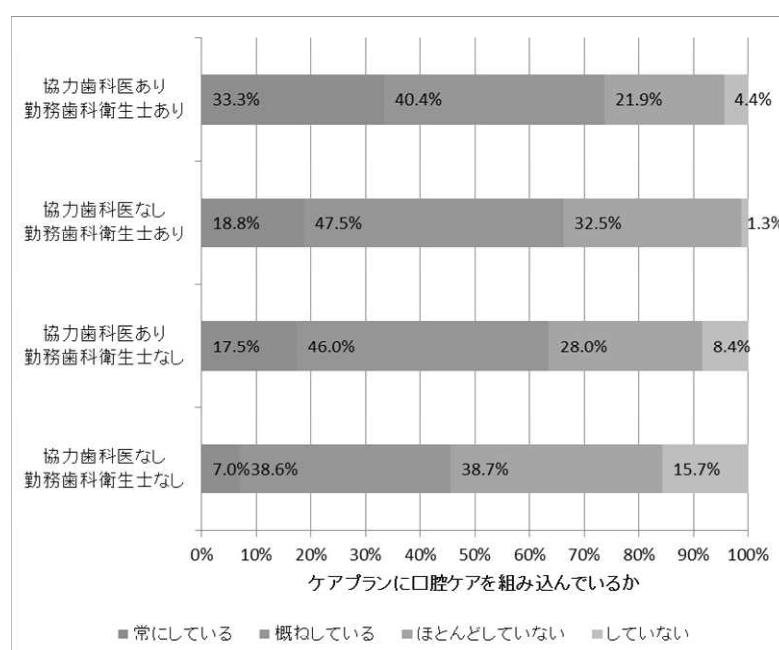
協力歯科医、勤務歯科衛生士のどちらか一方でも存在する事業所では60%以上が『常にしている』または『概ねしている』と回答していた。一方、協力歯科医、勤務歯科衛生士のどちらも存在しない事業所では、半数以上が『ほとんどしていない』『していない』との回答という結果であり、有意な関連が認められた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）。

歯科専門職が存在する事業所の方が、口腔ケアをケアプランに組み込んでいることが分かった。[表 15, 図 28]

表 15 歯科専門職との連携状況とケアプランに口腔ケアを組み込んでいるかの関連

協力歯科医	なし	あり	なし	あり	合計	
勤務歯科衛生士	なし	なし	あり	あり		
に口腔ケアを組み込んでいるか ケアプラン（あるいは診療計画）	常にしている	55	7.0%	108	17.5%	216
	概ねしている	302	38.6%	284	46.0%	670
	ほとんどしていない	303	38.7%	173	28.0%	527
	していない	123	15.7%	52	8.4%	181
	合計	783	100%	617	100%	1,594

図 28 歯科専門職との連携状況とケアプランに口腔ケアを組み込んでいるかの関連



(3) 「協力歯科医、勤務歯科衛生士の存在」と「要介護者に対して口腔内の問題点やニーズをとらえているかどうか」との関連

協力歯科医が存在する事業所では80%以上が『常にとらえている』『概ねとらえている』と回答していた。協力歯科医が存在していない事業所であっても、歯科衛生士が勤務している事業所では70%以上が口腔内の問題点やニーズをとらえていた。しかし、どちらの歯科専門職も存在していない事業所ではその割合は60%程度という結果であり、有意な関連が認められた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）。

歯科専門職が存在する事業所の方が、要介護者の口腔内の問題点やニーズを把握していることが分かった。[表16, 図29]

表16 歯科専門職との連携状況と要介護者に対する口腔内の問題点の把握状況との関連

協力歯科医		なし		あり		なし		あり		合計
勤務歯科衛生士		なし		なし		あり		あり		
ニーズをとらえているか 要介護者に対して口腔内の問題点や	常にとらえている	47	6.1%	108	17.5%	11	13.6%	34	29.1%	200
	概ねとらえている	433	55.9%	400	64.9%	47	58.0%	65	55.6%	945
	ほとんどとらえていない	272	35.1%	103	16.7%	21	25.9%	17	14.5%	413
	とらえていない	23	3.0%	5	0.8%	2	2.5%	1	0.9%	31
	合計	775	100%	616	100%	81	100%	117	100%	1,589

図29 歯科専門職との連携状況と要介護者に対する口腔内の問題点の把握状況との関連

